

JAWIC

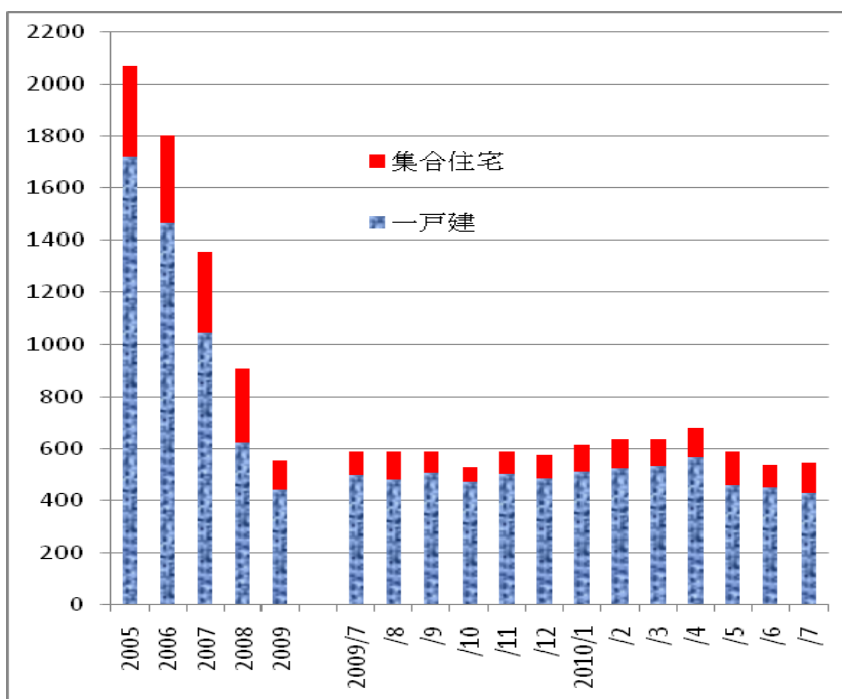
Seattle News

米国7月の住宅着工は微増、しかし.....

商務省が発表した7月の住宅着工は年率 54.6 万戸で前月比+1.7%、しかし前年同月比では-7.0%。前月比増は月ごとの増減の激しい集合住宅が 32.6%増加したためであり、一戸建てに限れば年率 43.2 万戸で前月をさらに 4.2%下回っている(図)。先行指標となる建築許可数は年率 56.5 万戸で前月比-3.1%、前年同月比では-3.7%。

フォクロージャー発生率は依然として高く、また、水面下（ローン残高>住宅評価額）にある家庭が増加しており、雇用情勢が好転しないかぎり住宅分野の早期回復は期待できない。

図：住宅着工数の推移（1000 戸）



資料：商務省

注：年計は実数、月別は季節調整年率